

# 伊勢寺地区 地域計画書



令和2年5月11日

伊勢寺地区住民協議会

## ◇地域計画策定、見直しの経過

平成27年5月9日

- ◆平成27年度伊勢寺地区住民協議会定期総会(以下「定期総会」という。)  
伊勢寺地区地域計画(以下「地域計画」という。)が策定されました。

令和元年10月8日

- ◆令和元年度第3回伊勢寺地区住民協議会運営委員会(以下「運営委員会」という。)

地域計画が策定されてから、令和元年度で5年を経過することになり、その内容が現在の地域課題に即したものになっているか見直しをする必要があることを確認し、自治会、運営委員会委員及び部会において、現在の地域計画の検証を行い、それを基に新しい地域計画を策定することとしました。

令和2年2月5日

- ◆令和元年度第2回伊勢寺地区住民協議会役員会(以下「役員会」という。)

自治会、運営委員会委員、部会から寄せられた意見等を反映して事務局で作成した地域計画(案)について検討し、第5回運営委員会に提案する地域計画(案)を取りまとめました。



令和2年2月10日

◆第5回運営委員会

第2回役員会で取りまとめた地域計画(案)を提案し、次回運営委員会で検討することとしました。

令和2年4月14日

◆第6回運営委員会

第5回運営委員会で提案した地域計画(案)を検討し、令和2年度定期総会に提案する地域計画(案)を取りまとめました。

令和2年5月11日

◆令和2年度定期総会

地域計画(案)を提案し承認されました。



# 1) 伊勢寺地区の概要

## ■ 地域の特性(地理・歴史・観光・文化行事・産業・住民協議会)

### (地理)



伊勢寺地区は松阪駅から西北西に約数km上った地域で、堀坂山 観音岳の麓にあり、地区内には伊勢自動車道松阪ICがあり、近畿・中京地区への交通の便は良く、車での松阪市の玄関です。

地区内には伊勢寺町・岩内町・八重田町・深長町・野村町・殿村町・日丘町の7町があり、約1,140戸を有する集落です。

当地区は、松阪市の西側丘陵地で農業地帯ですが、河川は堀坂川・岩内川・風呂屋川の3川しか無いため、岩内池・天神池・又刈池・平林池・十一池・向側池・八重田池・野村西沖池・ざる池等農業用水池が沢山あります。また、田畑が広がり、静かにゆっくり時間の流れる住みやすい地域です。



### (歴史)



当地区は、弥生土器が数多く出土する古くから拓けた地域で、平安時代には農業地帯となり、鎌倉時代には神宮の御厨(深長町)が置かれていたと思われます。南北朝時代には、南朝勢力の北畠親房らが伊勢に入るとこの地も北畠氏の傘下に入ります。隣接地区の阿坂城





(白米城)には、北畠 顕能が幕府軍を迎え討ち、相手の水絶ちのための包囲を、白米で馬を洗わせる機略を以て退けたという白米城伝説が残されています。

戦国時代には、織田 信長の侵攻に対し北畠 具教が阿坂城、岩内城、伊勢寺城、大河内城で抵抗するも、城を落され滅亡する舞台となった地です。伊勢寺地区市民センター地内は「小金塚」と呼ばれ、織田 信長の南勢攻略時の船江城の北畠軍との戦の場であり、深長町法蔵寺には、戦いで戦死した兵士を供養するためのものではないかと言われる五輪塔が立っています。

そして、安土桃山時代の1588年に蒲生 氏郷が松坂城を築城し入城、1590年会津へ移封されるまで、この地域は蒲生 氏郷の所領でした。その後、城主は古田 重勝に代わり、1619年古田氏が石見国浜田へ国替えとなると、徳川 頼宣が入城し、紀州和歌山藩となりました。

江戸時代が終わり、廃藩置県により、明治4年度会県になり明治9年に三重県となる中、当地区は飯高郡を経て明治29年飯南郡になり、昭和8年に誕生した松阪市に昭和26年に編入されました。

そして、平成24年5月にはこの地区にお住いの多くの方が卒業された伊勢寺小学校が、創立100周年を迎え、盛大にその事業を行いました。





また、伊勢寺地区には、国分寺、瑞巖寺、横滝寺等の古い歴史を持つ寺院があります。中でも、かつては慶雲寺と称され江戸時代になって国分寺と改められた同寺の創建は、出土瓦から7世紀末ごろと考えられ、その後奈良時代から平安時代初頭に、大規模な伽藍の整備が行われたと思われまます。

### (観光)



古くは岩内町の瑞巖寺や岩内池が、桜や紅葉の名所として有名で、紫蘇飯や味噌田楽が、瑞巖寺や池下屋商店(現在は廃業)で食べることができ、桜や紅葉の季節には賑わいました。また、観音岳麓にある横滝寺は横滝さんと親しまれ、その昔盲目の琵琶法師が17日間の開眼祈願の末、目が見えるようになり、持っていた琵琶を仏殿に奉納したと伝えられています。今も境内にある霊泉は眼病に効くと伝えられ、毎月14日に供養が行われています。以前は遠く鳥羽や志摩から海女さん達がお参りし、松阪駅からは臨時バスが出た程でした。



現在の観光は、松阪IC近くのベルファームが農業公園として脚光を浴びている他、堀坂山への登り口には森林公園があり、春の桜や夏のキャンプ等で賑わっています。また、伊勢寺地区や八重田地区は、田

圃の畔に日本スイセンや芝桜を植えたり、休耕田にコスモスや向日葵の花を植えるなどの環境保全活動を行い、開花の時期には沢山の人の目を楽しませています。

### (文化・行事)



主な地域の活動としては、春は公民館まつりに始まり、各地区での桜や芝桜のお花見会、地区対抗ソフトボール大会、ふれあいグラウンドゴルフ、地区対抗レディースグラウンドゴルフ大会、夏には自然観察会、各地区の夏祭りやお楽しみ会、盆踊りがあります。秋には小学校運動会・地区体育祭に始まり、地区敬老会、いもほり会、伊勢寺フェスティバルと盛り沢山の行事があり、冬には住民協議会最大の行事である防災訓練を行い一年を終えます。

子どもの行事、大人の行事、お年寄りの行事、女性の行事や住民みんなで参加できる行事など、年間を通じて多種多様な行事を実施しています。

### (産業)

当地域の産業は農業(米作、麦作)を中心に、35年ほど前までは養蚕農家が多く、畑地は桑畑が大半を占めていました。田畑とも大規模な耕地整理を行った結果、桑畑が無くなり、代わりに菜花やモロヘイヤの畑、





果樹園になりました。田園地帯ではありますが、その担い手の多くは農作業請負業者に代わり、農家と言っても若い方々は勤めに出て、サラリーマン兼業農家が殆どになりました。そして、田畑を守っているのは、高齢者が中心になっています。この地区も少子高齢化の波が来ています。

### (住民協議会)

伊勢寺地区住民協議会は、地理の項で記載しました7町の自治会で構成されています。当協議会は従来から活動している自治会、公民館、地区福祉会、PTA、消防団や交通安全協会の活動をそのまま協議会の活動に置き換え、地域環境部会、教育文化部会、防犯防災部会、公民館部会、健康福祉部会の5つの部会に組織し、活動を継続しています。特に協議会としての新たな活動は、南海・東南海・東海地震を想定した防災訓練を協議会発足の年から実施し、住民の防災意識の高揚を図っています。また、子どもからお年寄りまでの接点を保つため、小学児童と老人会のグラウンドゴルフ大会や地区体育祭、思いやりの心を育む一人暮らし高齢者宅への小学生による配食サービス等があります。

いろいろな世代が参加できる行事を、5つの部会が従来の行事を大切にしながら推進し、一人でも多くの顔を知り、お互いが助け合い、いつまでも幸せに暮らせるまちを目指している地域です。



■伊勢寺地区の年代別の人口推移

	伊勢寺地区 の人口	年少人口 (14歳以下)	生産年齢人口 (15～64歳)	高齢者人口 (65歳以上)
2015年10月	3,646人	467人 (12.8%)	1,950人 (53.5%)	1,229人 (33.7%)
2020年10月	3,502人	414人 (11.8%)	1,710人 (48.9%)	1,378人 (39.3%)
2025年10月	3,303人	350人 (10.6%)	1,557人 (47.1%)	1,396人 (42.3%)
2030年10月	3,044人	285人 (9.4%)	1,441人 (47.3%)	1,318人 (43.3%)

データ元:名古屋大学持続的共発展教育研究センター「小地域ごとの簡易人口推計ツール」

## ■地域の主な課題と現状での取り組み

《課題》 防災意識や安全安心に対する危機管理意識が低い。

【取り組み】 地区全体の防災訓練や各自治会単位での訓練、消防団とそのOBで組織した地区自主防災隊の合同訓練等の機会を通じて、防災意識の向上を図る取り組みを行っている。

《課題》 不法投棄など地区外からの環境汚染に弱い。また、ペットの糞の始末などマナーが悪い。

【取り組み】 各自治会単位で対応している。また、日丘町自治会では、CUHT(Clean Up Hioka Team)を結成し、公園の整備、街路の清掃、糞害防止のためのPRを行っている。

《課題》 子どもを預かってくれる所がない。また、不審者情報も度々あり、安心して子どもたちだけで遊ばせられない。

【取り組み】 防犯防災部会を中心に、子どもを見守る会の活動や校区内パトロールを通じて、子どもを守る活動を行っている。  
また、令和2年4月に伊勢寺小学校放課後児童クラブ「いせでらっこクラブ」が開設され、子どもたちが安心して過ごせる場、保護者が安心して子どもを預けられる場の一つとして期待されている。



《課題》 公共交通機関が代替バスだけで、利用者も限られており本数も少ない。

【取り組み】 自治会連合会で補助事業を実施し、平成27年度は360件の補助実績があった。しかし、平成28年にICカード「エミカカード」が導入され、カード1枚につき500円を補助することになってから補助件数が激減し、令和元年度の実績は3件となっている。

《課題》 通学路が十分な幅が確保されておらず、危険な状態である。また、近年地区内で交通死亡事故が多発しており、交通安全に対する対策が必要となっている。

【取り組み】 道路については、各自治会で改善するよう要望したり、住民への注意喚起をしている。また、防犯防災部会を中心に、交通安全街頭指導等を通じて地域の安心安全のために取り組んでいる。

《課題》 地区内に店舗や施設が少ないため、利用する人が少ない。

【取り組み】 平成27年度から住民協議会が実施する行事の参加賞等として、伊勢寺地区内で使用できる地域振興券を配布し、地区内での経済振興を図っている。平成27年度当初8店だった契約締結店舗は、令和元年度末現在16店となり、地区内である程度定着して来ている。  
令和2年度からは、発行年度中であった使用期限を翌年度まで延長する。

《課題》 生産人口の流出等による空家の増加に伴い、手入れされない民家により地域の景観が悪化し、獣の住処になったり、老朽化にともなう危険が増している。

【取り組み】 各自治会で対応しているが、団地地区である日丘町自治会では、対策として、空家発生時に売却意思を確認し、良心的な不動産業者の紹介を通じて空家の解消に取り組んでいる。

この結果、日丘町では平成28～30年度に33組の若年夫婦の転入があった。

《課題》 高齢者世帯の増加にともない、買い物や病院通院時に、バスなどの公共交通機関では、バス停まで行けない、バス停で降車してから目的地まで行けないなど、高齢者の日常生活に不安が出てきている。

【取り組み】 健康福祉部会や地区福祉会を中心に、食事会など、高齢者の生活に寄り添う事業を実施している。

日丘町自治会では、高齢者の移動手段の確保を目的に、市内の移動について自動車での送迎事業を計画している。

継続してサービスを提供していくため、また、利用者の心理的な負担を軽減するため、ボランティアではなくNPO法人を設立し、事務所(空家)、自動車を保有し、運転手(町内退職者)を雇用し、位置情報システムを導入して効率のよい有料サービスとして定着させることを目指している。

他地区では、同居世帯が比較的多く、家庭内の支えあいで解決されているところもあるが、高齢者世帯の増加に伴い、より深刻な問題になることが予想される。



## 2)伊勢寺地区の将来像

地域全体で互いに支えあい助け合いながら  
みんながいつまでも幸せに暮らせるまち

### ■将来像の考え方

伊勢寺地区は、堀坂山と観音岳の麓にあり、田園と畑が広がり自然豊かな地域ですが、松阪ICやアクセス道等道路が整備され、高速道路により名古屋、大阪にも近く車での交通に便利なまちです。

このような地域の特性を活かし、地域住民が協働して豊かな自然を守り、子どもたちを育み、お互いが支えあい助け合いながら安心して安全なまちづくりに取り組み、いつまでも幸せに暮らせるまちを目指します。

### 3)伊勢寺地区の目指す姿

- ① 豊かな自然環境を守り続けるまち(地域環境部門)  
豊かな自然や景観を守り、美しいまちづくりを継続します。
- ② 未来ある子どもたちの豊かな心を育むまち(教育文化部門)  
「子どもは地域の宝」という気持ちで、地域住民一人ひとりが見守り育てる意識を持ちます。
- ③ 安心して暮らせるまち、災害に負けないまち(防犯防災部門)  
地域みんなで協力して犯罪や交通事故から身を守り、地震や風水害に対する危機管理意識を高め、地域住民が力を合わせて安心安全なまちづくりを行います。
- ④ 地域の交流やふれあいの場のあるまち(地域振興分野・公民館部門)  
地域行事や各部門での出来事などを広く住民にお知らせし、地域交流やふれあうことの出来るまちづくりをします。
- ⑤ 高齢者にやさしいまち、誰もが健康に暮らせるまち(健康福祉部門)  
高齢者等の集える場所の確保と健康づくりを推進し、明るく楽しいまちづくりをします。



#### 4) 伊勢寺地区まちづくりの具体的計画 (継続可能な主な事業)

##### ① 豊かな自然環境を守り続けるまち

地域環境部会

自然環境を守り続けるまち

主体	事業名	事業内容	期日/期間	備考
協働	創造の森 整備事業	創造の森の整備を行う。	H25年度～ (継続)	栄林の会
協働	遊んで森林の働 きを学ぶ事業	伊勢寺小学校児童を対象に、自然観察 会を実施する。	H24年度～ (継続)	伊勢寺小学校
協働	イーゼル製作 事業	伊勢寺小学校児童を対象に、イーゼンを 製作する。	H26年度～ (継続)	伊勢寺小学校
協働	ネイチャークラフ トづくり事業	伊勢寺幼稚園児とその保護者対象に、ネ イチャークラフトづくりを行う。	H24年度～ (継続)	伊勢寺幼稚園

主体	事業名	事業内容	期日／期間	備考
協働	巣箱づくり事業	伊勢寺幼稚園園児と保護者を対象に巣箱づくりを行う。	H24年度～ (継続)	伊勢寺幼稚園
協働	サワガニ 観察事業	伊勢寺幼稚園児とその保護者を対象にサワガニ観察を行う。	新規	伊勢寺幼稚園
自主	観音岳登山	森への関心を高め、健康増進を図るために観音岳周辺の登山を行う。	H26年度～ (継続)	

## ② 未来ある子どもたちの豊かな心を育むまち

教育文化部会 子育てを支援できるまち

主体	事業名	事業内容	期日／期間	備考
協働	フェスティバル の開催	毎年11月に、地域住民や小学生と一緒に伊勢寺フェスティバルを開催し、子どもたちとの交流を図る。	H24年度～ (継続)	伊勢寺小学校
自主	いせでらさんぽ みち普及活動	パネルシアター、PVを活用し、幼稚園、小学校、地区内イベント等で本歌の普及と地区の名所、旧跡等のPRを行う。	H27年度～ (継続)	



### ③ 安心して暮らせるまち、災害に負けないまち

防犯防災部会 近所との支えあいを続けるまち

主体	事業名	事業内容	期日／期間	備考
自主	防犯灯設置 補助事業	各地区の必要箇所への新規設置、古い防犯灯の更新時、補助金を出していく。	H24年度～ (継続)	
協働	防災訓練	半世紀以上前の南海・東南海地震の発生に合わせ、12月に地区全体で実施する。	H24年度～ (継続)	自警団 消防団
協働	子ども見守り 事業	小学校一斉下校時(1回/週)に子どもたちに付き添い見守りながら下校する。	H24年度～ (継続)	子どもを 見守る会
協働	地区自主防災 隊合同訓練	各地区の自警団及び地区消防団等と合同で防災に関する知識の習得と訓練を行う。	H27年度～ (継続)	地区自主 防災隊 消防団
協働	地区別防災 訓練	自治会単位で消火栓の取り扱いや心肺蘇生法等の訓練を実施する。	H29年度～ (継続)	各自治会

#### ④ 地域の交流やふれあいの場のあるまち

公民館部会

地域交流ふれあいのまち

主体	事業名	事業内容	期日／期間	備考
協働	地域振興券 の活用	地域内で通用する金券を発行し、地域内の商店や施設で使ってもらい、経済活動の活性化を図る。	H27年度～ (継続)	商店 事業所
協働	夏祭りの支援	各地区の夏祭りや盆踊り等行事に補助金を出し支援する。	H24年度～ (継続)	連合自治会
自主	地区対抗レディースグラウンドゴルフ大会	各地区の女性を対象としたグラウンドゴルフを開催し、女性間の交流を図る。	H24年度～ (継続)	
自主	地区対抗ソフトボール大会	交流行事として、地区対抗のソフトボール大会を開催する。	H24年度～ (継続)	
協働	地区体育祭	小学校運動会と合同で体育祭を開催し、家族ぐるみの交流の場づくりを行う。	H24年度～ (継続)	伊勢寺小学校 PTA
自主	地区対抗C・Cリング・シャッフルボード大会	誰でも簡単にできるニュースポーツで、小学生から大人まで幅広い年齢層の交流を図る。	H28年度～ (継続)	



## ⑤ 高齢者にやさしいまち、誰もが健康に暮らせるまち

健康福祉部会 高齢者にやさしいまち

主体	事業名	事業内容	期日／期間	備考
自主	地区敬老会 事業	毎年10月、小学校体育館に地区在住の75歳以上の方々を招待し、慰労する。	H24年度～ (継続)	
協働	バス存続活動	ICカード「エミカカード」1枚につき500円の補助をする。	H24年度～ (継続)	連合自治会
自主	一人暮らし 高齢者食事会	食事会を開催し、家を出る機会と人とのふれあいの場をつくる。	H26年度～ (継続)	
協働	配食サービス 活動	伊勢寺小6年生と福祉会役員が、一緒に一人暮らし高齢者宅を訪問し、お弁当と手紙を届ける。	H24年度～ (継続)	伊勢寺小学校
協働	ふれあいグラ ウンドゴルフ	伊勢寺小6年生と老人会が、一緒にグラウンドゴルフを行い、交流を深める。	H24年度～ (継続)	伊勢寺小学校
協働	老人のつどい	講師を招き、高齢者のためになる講話や楽しく過ごせるひと時を提供する。	H25年度～ (継続)	伊勢寺地区老人クラブ連合会

